

# 事業概要

(平成22年度のまとめ)

京都府立図書館

# 目 次

## I 年次概要

1 平成22年度の主な動き	1
2 資料・利用	1

## II 図書館資料

1 総資料数・年間収集資料数	2
2 図 書	2
(1) 資料数	
(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
(3) 視聴覚資料・障害者用資料	
3 逐次刊行物	3

## III 利用の状況

1 開館日数	4
2 入館者数	4
3 登録者数	4
4 個人貸出	4
(1) 貸出者数	
(2) 貸出図書数	
(3) 借受提供	
5 図書館等への貸出（一括貸出を除く）	5
6 市町村への一括貸出	6
7 調査相談	6
8 対面朗読サービス	6
9 点字・音声資料貸出	7
10 マルチメディア利用	7
11 複写利用	7
12 取寄せ申込みeサービス依頼件数	7
13 ホームページアクセス件数	7

IV 京都府図書館総合目録ネットワーク(K-Libnet)の状況(23年8月1日現在)	8
---	---

V	事業その他	
1	連絡協力車の運行	9
	(1) 搬送の内訳	
	(2) 搬送コース	
2	図書館事業等	10
	(1) 読書週間記念講演会等の実施	
	(2) 子ども読書活動の振興	
	(3) 図書館・読書施設等職員研修の実施	
	(4) 国民読書年関連事業	
	(5) 大学、岡崎地域活性化事業との連携	
	(6) 館内見学会の実施	
VI	組織及び職員数 (23年4月1日現在)	11
VII	経費	11
VIII	施設の概要等	12
IX	沿革	13
X	歴代館長	16
	【参考】京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針	17

# I 年次概要

## 1 平成 22 年度の主な動き

京都府内 26 市町村すべてを結ぶ京都府総合目録ネットワーク (K-Libnet) は、参加館は 67 館であり、蔵書データ提供館は 60 館で、うち横断検索館は年々増加し 46 館となっている。府内の公共図書館・読書施設間の相互貸借冊数は 48,555 冊であり、その内訳は、府立図書館から市町村等への貸出が 19,670 冊 (過去最高)、市町村等からの府立図書館の借受が 1,376 冊、市町村間の相互貸借が 27,509 冊 (過去最高) となっており、相互協力システムは順調に推移している。

市町村図書館・読書施設等の職員の資質向上のため、研修事業の充実を図り、「アニメーション講習会」「図書館の危機管理に関する講習会」「図書館ホームページの再創造」「ストーリーテリングに関する講習会」など幅広い内容の研修を北部・中部・南部会場で実施した。

平成 22 年度は、館内システム更新に合わせ、10 月から新聞や雑誌記事などのオンラインデータベースの拡充や、利用者が登録したキーワードに関連する新着図書案内を電子メールで届ける新着図書お知らせサービスを開始するとともに、写真や図面で当館の施設や機能をわかりやすく紹介するパンフレット「京都府立図書館ナビ」を作成・配布した。また、平成 23 年 3 月から新着雑誌記事速報サービスを新たに始めるなど利便性の向上を図った。

平成 22 年は、「国民読書年」であったことから、国民読書年にちなんだ小展示の実施や、新規事業として、4 月に各小中学校あて小・中学校用学校支援セットの目録 (CD-ROM) を配付し、5 月には京都府立すばる高等学校のビジネス探求科のフィールドワークの受け入れ、7 月には京都府総合教育センターが実施する学校図書館司書・司書教諭講座を当館で開催し、9 月には京都府立医科大学附属図書館と共催で医療・健康情報に係る「府民講演会」を実施した。

さらに、国民文化祭・京都 2011 プレイメントとして、「平家物語～筑前琵琶で奏でる景色から～」と題し、片山旭星氏による筑前琵琶の演奏と、平家物語に関連する当館所蔵資料の紹介を行った。

## 2 資料・利用

### (1) 資料数

平成 22 年度中の資料収集は、購入図書、寄贈図書等を 20,754 冊受け入れ、蔵書数は 855,441 冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、268,033 冊相当あり、総計の蔵書数は 1,123,474 冊である。

### (2) 貸出

#### ア 個人貸出

個人貸出は、総数で延べ 90,621 人、199,087 冊である。

#### イ 図書館等への貸出

府内の市町村立図書館等への貸出 (一括貸出を除く) は 30,613 冊、他府県の公立図書館等への貸出は 801 冊であり、総数 31,414 冊である。

#### ウ 市町村への一括貸出

府内公立図書館等の図書館活動を支援するための貸出文庫が 75,487 冊である。

## Ⅱ 図 書 館 資 料

### 1 総資料数・年間収集資料数

図書数 855,441 冊、逐次刊行物 268,033 冊 (図書換算数)、総資料数 1,123,474 冊

年間収集資料数 図書・視聴覚資料 20,754 冊 (点)

逐次刊行物 399 タイトル (購入分のみ)

### 2 図 書

#### (1) 資料数

(単位：冊)

区 分	22年度受入冊数				22年度末 図書数	うち 児童書	うち 京都資料	うち 外国語資料	
	購 入	寄 贈	その他	計					
館内閲覧 個人 貸出用	図書資料	11,290	2,568	334	14,192	46,956	20,035	19,127	
	視聴覚資料	343	109	5	457				
	計	11,633	2,677	339	14,649				
市町村 支援用	貸出文庫	6,053	52		6,105	70,860			
	計	6,053	52		6,105				
合 計		17,686	2,729	339	20,754	855,441	117,816	20,035	19,127

(注) 外国語資料には、児童書、京都資料の外国語資料を含む。

#### (2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数

(単位：冊、%)

分 類	冊 数	百 分 比
0 総 記	37,313	5.0
1 哲 学	37,274	5.0
2 歴 史	77,665	10.4
3 社 会 科 学	156,230	20.9
4 自 然 科 学	45,355	6.1
5 技 術	51,638	6.9
6 産 業	38,138	5.1
7 芸 術	48,623	6.5
8 言 語	13,557	1.8
9 文 学	147,694	19.7
小 計	653,487	87.4
教 科 書	22,197	2.9
児 童 書	46,956	6.3
そ の 他	25,338	3.4
合 計	747,978	100.0

(3) 視聴覚資料・障害者用資料

視聴覚資料

区 分	22年度末タイトル数 (点数)
CD	623 (764)
CD-ROM	1,292 (1,415)
DVD	1,728 (1,730)
VD-ROM	251 (251)
ビデオテープ	3,170 (3,181)
カセットテープ	883 (2,706)
マイクロフィルム	125 (7,641)
マイクロフィッシュ	402 (3,730)
デージー資料	740 (740)
計	9,214 (22,158)

障害者用資料

区 分	22年度末タイトル数 (点数)	摘 要
大活字本	2,708 (2,708)	
点字図書	366 (1,492)	
デージー資料	740 (740)	「視聴覚資料」の「デージー資料」の再掲
テープ資料	883 (2,706)	「視聴覚資料」の「カセットテープ」の再掲

(注)「大活字本」以外は、(2)「館内閲覧・個人貸出用図書」の「その他」の内数

3 逐次刊行物

区 分	新 聞	雑 誌	計
年間購入タイトル数	14	385	399
既存受入タイトル数	93	10,338	10,431

### Ⅲ 利用の状況

1 開館日数 271 日

2 入館者数 297,249 人 (1 日平均 1,097 人)

3 登録者数 5,363 人

〈有効登録者数累計 85,052 人 (京都市内 81.9%、その他地域 8.6%、他府県 9.5%)〉

4 個人貸出 (利用者登録した個人への貸出)

(1) 貸出者数 延べ 90,621 人 (1 日平均 334 人)

(2) 貸出図書数 199,087 冊 (1 日平均 735 冊)

内、インターネット貸出待ち登録サービスによる貸出図書数 2,778 冊

(3) 借受提供 (他の図書館等から資料を借り受けて利用者へ提供)

(単位：冊)

借 受 先		借 受 冊 数
府 内	市町村立図書館等 (①)	1,376
府 外	国立国会図書館 (②)	110
	他府県立図書館 (③)	712
	他府県内市町村立図書館等 (④)	325
	計	1,147
合 計		2,523

(①) 市町村立図書館等の主な内訳

京都学園大学図書館(114)、精華町立図書館(86)、長岡京市立図書館(85)、城陽市立図書館(85)、八幡市立八幡市民図書館(71)、亀岡市立図書館(71)、宇治市中央図書館(67)、向日市立図書館(56)、京都市中央図書館(56)、木津川市立山城図書館(52)、京田辺市立中央図書館(50)、宮津市立図書館(45)、南丹市立中央図書館(39)、木津川市立加茂図書館(38)、綾部市立図書館(38)、木津川市立中央図書館(36)、宇治田原町立図書館(35)、京丹後市立あみの図書館(31)、与謝野町立図書館(30)、井手町図書館(29)、京都市醍醐中央図書館(29)、舞鶴市立西図書館(28)、久御山町立図書館(27)、福知山市立図書館中央館(27)、京都市右京中央図書館(27)、舞鶴市立東図書館(23)、京丹後市立峰山図書館(23)、大山崎町立中央公民館図書室(22)

(2) 国立国会図書館の内訳

東京本館(75)、関西館(15)、国際子ども図書館(20)

(3) 他府県立図書館の主な内訳

滋賀県(126)、大阪府(121)、兵庫県(88)、奈良県(64)、三重県(42)、和歌山県(23)、岡山県(21)、東京都(14)、愛知県(13)、埼玉県(13)、徳島県(12)、神奈川県(12)、北海道(11)、富山県(10)、石川県(9)、福島県(8)

(4) 他府県内市町村立図書館等の主な内訳

大阪市(56)、茨木市(22)、枚方市(21)、堺市(18)、神戸市(14)、寝屋川市(11)

5 図書館等への貸出(一括貸出を除く)

(単位:冊)

貸 出 先		貸 出 冊 数	摘 要
府 内	市町村立図書館等(※)	19,670	26市町村他
	学校図書室	10,943	府立高校40校他
	計	30,613	うち、学校支援セット貸出8,271冊
府 外	他府県公立図書館・大学等	801	
合 計		31,414	

(※) 市町村立図書館等の内訳

(単位:冊、%)

地 域 区 分	貸 出 冊 数	百 分 比
京都市	2,000	10.2
乙訓地域	2,358	12.0
山城地域	6,489	33.0
南丹地域	2,955	15.0
中丹地域	2,928	14.9
丹後地域	2,829	14.4
府立総合資料館	46	0.2
その他	65	0.3
合 計	19,670	100.0



## 6 市町村への一括貸出

(単位：冊)

区 分	貸 出 冊 数	摘 要
貸 出 文 庫	75,487	

### 貸出文庫の内訳

(単位：冊)

教育委員会名	貸 出 冊 数	教育委員会名	貸 出 冊 数	教育委員会名	貸 出 冊 数
向 日 市	813	長 岡 京 市	300	大 山 崎 町	1,113
木 津 川 市	300	相 楽 東 部 広 域 連 合	4,528	南 丹 市	17,122
福 知 山 市	11,506	綾 部 市	812	官 津 市	7,845
与 謝 野 町	16,000	伊 根 町	7,030	京 丹 後 市	8,118

## 7 調査相談

(単位：件)

区 分	相 談 件 数	摘 要
調 査 相 談	15,645	
マルチメディア相談	106	マルチメディア閲覧室関係で所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	103	
合 計	15,854	

## 8 対面朗読サービス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	47
実施時間	8	8	8	8	8	8	8	6	8	8	8	8	94

9 点字・音声資料貸出

(単位：点)

資料区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
テープ	3	0	6	3	2	0	0	0	0	0	0	1	15
C D	20	39	44	33	30	36	15	10	10	30	30	10	307
ディジー	10	23	28	25	23	22	3	15	25	15	21	29	239
合計	33	62	78	61	55	58	18	25	35	45	51	40	561

10 マルチメディア利用

(単位：人)

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	31,203	115
C D - R O M 端末	1,577	6
A V ブース利用	6,320	23
マイクロフィルム	872	3
判例、貴重書端末	177	1
合計	40,149	

11 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	279,940	白黒 274,092、カラー5,848
CD-ROM、外部DB	5,548	貴重書DBを含む
マイクロフィルム	5,670	
合計	291,158	

12 取寄せ申込み e サービス依頼件数

1,902 件

13 ホームページアクセス数

327,807 件

京都府図書館総合目録ネットワーク  
(K-Libnet) の状況 (23年8月1日現在)

図書館・読書施設名	データ提供館		検索館 (データ未提供)	
	分散型(横断検索)参加館	集中型参加館		
府立図書館	○			
府立総合資料館	○			
京都市	中央図書館	○		
	右京中央図書館	○		
	伏見中央図書館	○		
	醍醐中央図書館	○		
	北図書館	○		
	左京図書館	○		
	岩倉図書館	○		
	東山図書館	○		
	山科図書館	○		
	下京図書館	○		
	南図書館	○		
	吉祥院図書館	○		
	久世ふれあいセンター図書館	○		
	西京図書館	○		
	洛西図書館	○		
	向島図書館	○		
	醍醐図書館	○		
	久我のもり図書館	○		
子育て支援総合センター こどもみらい館子育て図書館	○			
移動図書館	○			
向日市立図書館	○			
長岡京市立図書館	○			
大山崎町立中央公民館図書室	○	27,787 件		
宇治市中央図書館	○			
城陽市立図書館	○			
久御山町立図書館	○	119,458 件		
八幡市立八幡市民図書館	○			
京田辺市立中央図書館	○			
井手町図書館	○			
宇治田原町立図書館	○	72,242 件		
木津川市	市立中央図書館	○	114,978 件	
	市立加茂図書館	○	57,727 件	
	市立山城図書館	○	79,711 件	
精華町立図書館	○			
笠置町中央公民館図書室			○	
和東町体験交流センター図書室			○	
南山城村図書室			○	
亀岡市立図書館	○			
南丹市	市立中央図書館	○		
	八木図書室	○		
	日吉図書室	○		
	美山図書室	○		
京丹波町	町立中央公民館図書室	○	22,591 件	
	瑞穂支所瑞穂教育分室			○
	和知ふれあいセンター図書室			○
綾部市図書館	○			
福知山市	図書館中央館	○		
	市立図書館三和分館	○		
	市立図書館夜久野分館	○		
	市立図書館大江分館	○		
舞鶴市	市立東図書館	○	96,155 件	
	市立西図書館	○	87,685 件	
宮津市立図書館			○	104,951 件
与謝野町	町立図書館	○	49,339 件	
	町立図書館野田川分室	○	18,338 件	
	町立図書館加悦分室	○	15,719 件	
伊根町教育委員会図書室				○
京丹後市	市立峰山図書館	○		
	市立図書館大宮図書室	○		
	市立図書館弥栄図書室	○		
	市立あみの図書館	○		
	市立図書館丹後図書室	○		
	市立図書館久美浜図書室	○		
京都ライトハウス情報ステーション				○
京都学園大学図書館		○	157,607 件	
合計	46 館	14 館	1,024,288 件	7 館
		60館 (22市町1大学)		

## V 事業その他

### 1 連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集や、府立高校との機関貸出図書等の搬送を行うため、次の5コースにより26市町村62施設(21府立高校、41図書館・読書施設)へ毎週1回(一部3箇月に1回)、合計245回の運行を実施した。

#### (1) 搬送の内訳

(単位：冊)

区 分	搬 送 冊 数
府立図書館から市町村への搬送	19,670
市町村から府立図書館への搬送	1,376
市町村と市町村との間の搬送	27,509
計	48,555
寄贈図書の搬送	3,570
合 計	52,125

#### (2) 搬送コース

コース名	順 路
A コース	京都府立図書館→京都学園大学図書館→亀岡市立図書館→南丹高校(→南丹市八木図書館)→南丹市立中央図書館→農芸高校→京丹波町立中央公民館図書室(→南丹市日吉図書室→京丹波町和知ふれあいセンター図書室→南丹市美山図書室)→北桑田高校→盲学校→京都ライトハウス情報ステーション→京都府立総合資料館→京都府立図書館
B コース	京都府立図書館→洛水高校→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館→精華町立図書館→国立国会図書館関西館→木津川市立中央図書館→和束町体験交流センター図書室→南山城村図書室→笠置町中央公民館図書室→京都すばる高校→桃山高校→京都府立図書館
C コース	京都府立図書館→東稜高校→東宇治高校→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館→城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館図書室→長岡京市立図書館→向日市立図書館→桂高校→京都市中央図書館→京都府立図書館
D コース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→東舞鶴高校→大江高校→福知山市立図書館中央館→工業高校→京都府立図書館
E コース	① 京都府立図書館→宮津市立図書館→与謝野町立図書館(→与謝野町立図書館加悦分室)→加悦谷高校(→与謝野町立図書館野田川分室)→伊根町本庄地区公民館図書室(→京丹後市立図書館丹後図書室→京丹後市立図書館弥栄図書室)→峰山高校弥栄分校(→京丹後市立図書館大宮図書室→京丹後市立図書館久美浜図書室)→久美浜高校→京丹後市立峰山図書館 ② →網野高校→京丹後市立あみの図書館→洛西高校→北嵯峨高校→嵯峨野高校→北稜高校→京都府立図書館

## 2 図書館事業等

### (1) 読書週間記念講演会等の実施

府民の生涯学習を推進するため、例年、読書週間記念講演会を開催しているが、「古典の日」にちなむ府立図書館と府立総合資料館の連携事業として、11月5日に当館を会場に京都学園大学教授山本淳子氏を講師に迎え、「古典文学の愉しみ～時にはしみじみ枕草子～」と題し、枕草子の中から清少納言のしみじみとした心情に触れる場面などについてお話しいただいた。併せて、府立総合資料館の協力で、枕草子に関係する江戸時代の本を展示し、古典の魅力に触れる企画とした。

また、初めて府立図書館・府立医科大学連携事業として、医療・健康情報に関する府民講演会を実施し、9月12日に当館を会場に京都府立医科大学大学院医学研究科教授であり附属図書館長でもある福居顯二氏を講師に迎え、「精神の病理と芸術～美術・文学作品からみる～」を開催した。

### (2) 子ども読書活動の振興

「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、毎年4月23日が「子ども読書の日」と定められたことにあわせて、子どもの読書活動を推進する取組として平成14年度から「子ども読書絵てがみコンテスト」を京都府図書館等連絡協議会との共催で実施している。

平成22年度第9回は府内から18,000点を超える応募があり、京都府庁旧本館正庁で表彰式及び受賞作品の展示を行うとともに、府内21市町村30会場で巡回展示を行った。

### (3) 図書館・読書施設等職員研修の実施

府内図書館等職員を対象に、「アニメーション講習会」を北部会場は4月22日、中部会場は5月20日に、南部会場は5月27日に実施した。また、「図書館の危機管理に関する講習会」を北部会場は7月13日に、中部会場は9月14日、南部会場は7月29日に実施した。また、「図書館ホームページの再創造」を北部会場は11月16日に、中部会場は11月24日に、南部会場は12月17日に実施した。更に、「ストーリーテリングに関する講習会」を北部会場は1月21日に、中部会場は2月16日に、南部会場は3月2日に実施した。このように平成22年度は合計3会場で各4回実施し、延べ176名の参加があった。

### (4) 国民読書年関連事業

2010年は国民読書年であったことから、当館1階展示コーナーにおいて3回に分けて、過去のベストセラー本や、松岡正剛氏が京都新聞の「本の大路小路」で紹介した本、芥川賞・直木賞等を受賞した本の展示を行った。

### (5) 大学、岡崎地域活性化事業との連携

当館所蔵の戦後の教科書約2万冊の分類作業が終わり、オンライン検索も可能となったことから、京都教育大学が教員志望の学生を対象に、当館で初めて教科書コレクションを活用した授業を行った。

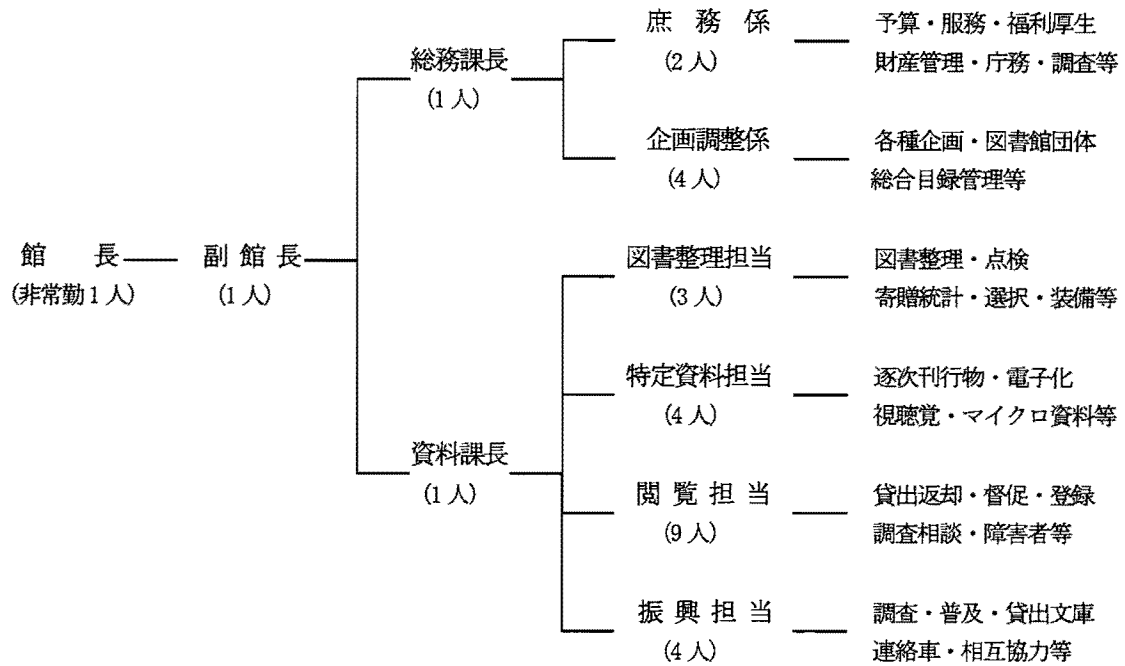
また、新たに近隣の美術館の展覧会と連携して「上村松園展」や「親鸞展」関連の図書コーナーを設置したり、「パウル・クレーとバウハウス」の小展示を行い、同時に当館で作成した関連図書のブックリストを各美術館に配架いただいた。

### (6) 館内見学会の実施

平成21年7月から毎月第3水曜日に、図書館の機能や業務をより知っていただくため、館内見学会を実施している。平成22年度は、計12回で69名の参加があった。

## VI 組織及び職員数 (平成 23 年 4 月 1 日現在)

常勤職員 29 人、非常勤職員 18 人 (館長 1 人・再任用 2 人・嘱託 14 人・臨時職員 1 人)



## VII 経 費

(単位：千円)

科 目	事 項	金 額	
図 書 館 費	人 件 費	290,528	
	資 料 費	図 書	43,501
		逐次刊行物	5,499
		計	49,000
	そ の 他	179,949	
	計	519,477	
事 務 局 費	人 件 費	4,136	
	そ の 他	115	
	計	4,251	
合 計		523,728	

## VIII 施設の概要等

所在地等	〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653 ホームページ <a href="http://www.library.pref.kyoto.jp">http://www.library.pref.kyoto.jp</a>
開館	平成13年5月11日(建替による開館、府立図書館設置は明治31年)
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上4階地下2階
敷地面積	3,740 m <sup>2</sup>
延床面積	7,478 m <sup>2</sup> (地下2階2,296 m <sup>2</sup> 、地下1階2,049 m <sup>2</sup> 、1階1,129 m <sup>2</sup> 、2階746 m <sup>2</sup> 、3階701 m <sup>2</sup> 、4階557 m <sup>2</sup> )
建築費	617,415万円(外構工事・設備・家具等を含む)
利用者用端末	OPAC22台、CD-ROM閲覧端末2台、データベース閲覧端末6台、新聞記事データベース閲覧端末5台、インターネット閲覧端末19台、貴重書データベース閲覧端末2台、映像ブース8台、オーディオブース4台
一般開架	1,710 m <sup>2</sup> 。10万冊の開架が可能
書庫	1,776 m <sup>2</sup> 。自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、28,284棚に約100万冊の図書収蔵が可能。
開館時間	火曜日～土曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時
休館日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の祝日に関する法律に規定する休日</li> <li>・月曜日(月曜日が前号に該当するときは、その翌日)</li> <li>・毎月第4木曜日</li> <li>・年末年始(12月28日～翌年1月4日)</li> <li>・特別整理期間</li> </ul>

### ※平成23年4月1日から変更(開館時間及び休館日)

開館時間	火曜日～金曜日 午前9時30分～午後7時 土・日曜日、祝日 午前9時30分～午後5時
休館日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日(祝日及び振替休日は開館、翌日が休館)</li> <li>・毎月第4木曜日(祝日は開館)</li> <li>・年末年始(12月28日～翌年1月4日)</li> <li>・特別整理期間</li> </ul>

## IX 沿 革

明治31年 (1898) 4月	府立京都図書館御苑内創立	昭和26年 (1951) 4月	上京分館開館 (北区紫郊会館内、昭和31年5月 (桜谷文庫内) 移転、同51年5月閉館)
" 6月	業務開始	" 9月	本館大閲覧室屋根修理着工休館
33年 (1900)	夜間開館開始	" 10月	本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
36年 (1903) 10月	巡回図書館 (貸出文庫) 制度開始 (昭和25年3月廃止)	" 11月	本館大閲覧室安全開架式を実施
38年 (1905) 4月	児童室開設 (大正14年3月閉鎖)	" 12月	本館新体制で開館
39年 (1906) 6月	館外貸与規則制定告示	27年 (1952) 6月	本館読書相談係設置
" 11月	新館起工式	" 7月	園部地方分館 (園部町立図書館内、昭和41年11月閉館)、北桑田地方分館 (京北町下中、昭和54年8月 (京北農業協同組合弓削支所内) 仮移転、同55年3月閉館) 及び木津地方分館開館 (旧役場内、昭和29年7月 (木津小学校内)、同38年5月 (町民センター内) 移転、同50年3月閉館)
42年 (1909) 2月	新館竣工	28年 (1953) 4月	本館月曜日休館を実施
" 3月	京都府立京都図書館規則告示	29年 (1954) 2月	伏見分館新築工事着工
" 4月	新館開館	" 9月	京都府立図書館「善本目録」作製
大正 8年 (1919) 1月	本館図書分類目録編纂に着手	30年 (1955) 9月	青年学級文庫実施
11年 (1922) 4月	貸出文庫を増設	32年 (1957) 6月	中京分館 (河原町分館改称) 開館 (烏丸庁舎内、昭和40年1月 (京一商同窓会館) 仮移転、同40年11月 (京都府中京庁舎内) 移転、平成13年3月閉館)
昭和 3年 (1928) 3月	帯出規程告示	35年 (1960) 10月	中京分館館外貸出実施
" 4月	個人貸出実施	38年 (1963) 3月	本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖 蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
" 6月	和漢図書分類目録分類表12冊作製	" 11月	本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
8年 (1933) 10月	京都府中央図書館に指定	" 12月	児童室 土・日曜休室
16年 (1941) 5月	児童室復活開室 (昭和23年4月元貴賓室に移転)	39年 (1964) 1月	本館外装改修工事
22年 (1947) 8月	館外貸出廃止	" 5月	本館夜間・土曜午後再開 (9時まで) 貸出室設置 児童室館外貸出実施土曜日開室 伏見分館館外貸出実施
23年 (1948) 9月	読書ルーム開設 (河原町丸善京都店地下)	" 7月	市内分館 日曜日休館を実施
24年 (1949) 4月	読書相談開始	40年 (1965) 7月	児童室に母親文庫設置
" 6月	河原町分館開館 (河原町丸善京都店地下、昭和31年9月閉館)	" 9月	府教育委員会基本規則一部改正 教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
25年 (1950) 2月	伏見分館開館 (伏見信用金庫2階、昭和29年7月移転、同63年3月閉館)		
" 6月	宮津地方分館開館 (宮津町役場内、昭和28年4月 (宮津市立図書館内)、同32年10月 (労働セツルメント内)、同39年5月 (宮津市立図書館内)、同46年8月 (新宮津市立図書館内) 移転、平成9年3月閉館)		
" 7月	綾部地方分館 (綾部市立図書館内、昭和38年7月 (市民センター内) 移転、同41年9月閉館) 及び峰山地方分館開館 (丹後地方教育局内、昭和30年6月 (丹波公民館内)、同37年9月 (丹波小学校内)、同55年4月 (峰山町中央公民館内) 移転、平成9年3月閉館)		
" 8月	学生自由閲覧室新設		
" 11月	京都府立図書館設置条例公布 (条例第62号)		



昭和41年(1966)11月	自動車文庫命名式(蟻川知事「あゆみ号」と命名) 移動図書館事業開始(平成2年12月終了)	昭和61年(1986)12月	昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
42年(1967)7月	本館修繕工事	62年(1987)10月	国立国会図書館とオンライン実施
〃 9月	貸出室移転再開	63年(1988)3月	「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
44年(1969)12月	本館夜間閉館時間(7時)に変更	平成元年(1989)10月	図書館資料広域貸出事業開始 「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
46年(1971)8月	本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウン方式に切替	2年(1990)3月	「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
48年(1973)4月	上京分館館外貸出実施	〃 4月	連絡協力車事業本格実施
50年(1975)3月	身体障害者用便所・スロープ新設	〃 6月	機構改革により本館は4課組織に
〃 5月	本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設)内装工事 本館閲覧室を完全開架式に切替	3年(1991)3月	本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室等配置換)
51年(1976)4月	本館閲覧用目録作成に着手	〃 6月	マイクロリーダプリンターのサービス開始
〃 6月	京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く	〃 8月	「連絡協力車だより」発刊
〃 7月	児童室改修工事	4年(1992)9月	毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
53年(1978)3月	本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備) 本館閲覧用目録整備完了	5年(1993)3月	「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
54年(1979)3月	本館書庫の改修工事	6年(1994)3月	「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
〃 4月	国会図書館からの図書貸出制度発足 本館自習室を閉鎖	7年(1995)2月	阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事実施
〃 11月	「専門情報機関要覧」刊行	〃 5月	本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
56年(1981)9月	移動図書館用電動集密書架設置	〃 8月	連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
〃 12月	伏見分館改修工事	〃 9月	一般図書室の天井一部損傷による補修工事実施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)
57年(1982)7月	障害者サービス(対面朗読)実施	〃 12月	京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
58年(1983)2月	生涯教育推進事業として読書推進講座実施	8年(1996)3月	平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
〃 3月	「京都府の公共図書館」刊行 伏見分館ブックポスト設置	〃 9月	新府立図書館建設基本計画の概要を発表
〃 6月	図書館協力貸出本格実施		
〃 7月	新着図書案内発行		
59年(1984)12月	連絡協力車試験的運行開始(2コース)		
60年(1985)7月	国立国会図書館とのオンライン利用実験実施		
61年(1986)8月	京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問		

平成8年 (1996)	9月	9月補正予算に文化財的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新築整備するための基本設計費等を計上	平成13年(2001)	5月	京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始(10日) 連絡協力車の毎週運行を開始(16日)
9年(1997)	3月	平成9年度当初予算に実施設計費等を計上	"	6月	京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始(1日)
"	4月	新館整備のため本館を休館(9.4.1~)	14年(2002)	4月	「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
"	9月	本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了	15年(2003)	2月	館内完全分煙の実施
10年(1998)	3月	府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了 平成10年度当初予算に、新館建設工事費等を計上	18年(2006)	4月	インターネット貸出待ち登録サービスを開始
"	7月	総合資料館蔵書との一体的データ化作業開始	"	5月	電話による貸出延長サービスを開始
"	9月	本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門学校へ)	"	12月	京都府図書館総合目録ネットワークに、府内全市町村が参加
"	11月	新府立図書館新築工事起工式	19年(2007)	3月	取寄せ申込みeサービス開始
11年(1999)	2月	平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催	20年(2008)		源氏物語千年紀記念事業(小展示・パネル展等)開催
"	3月	平成11年度当初予算に新築工事費等を計上	"	5月	インターネット貸出延長サービス開始
"	6月	「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」を採用	"	9月	学校支援セット貸出開始
12年(2000)	3月	平成12年度当初予算に新築工事費等を計上	21年(2009)	3月	所蔵音声資料の音声目録CD-ROM(デジタル版)を作成、配布
"	5月	国立国会図書館総合目録ネットワークに参加	"	6月	府立図書館「岡崎」100周年記念事業(小展示・パネル展等)開催(～平成22年3月)
"	10月	新館竣工	"	9月	府立図書館「岡崎」100周年記念パンフレットを作成
"	11月	仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化 「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行(1日)	"	11月	国立国会図書館関西館との連携(連絡協力車の運行)
13年(2001)	2月	仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了	22年(2010)	4月	学校支援セット貸出小中用CD-ROM目録を作成、配付
"	4月	府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、教育庁係等設置規程を一部改正して2課制(総務課:2係、資料課:4担当)を施行(1日) 「京都府立図書館の管理運営に関する規則」(平成13年京都府教育委員会規則第1号)を施行(1日)	"	9月	京都府立医科大学附属図書館と連携した「府民講演会」を開催
"	5月	「京都府立図書館個人貸出規程」等、各種規程を施行(7日) 開館式(10日) 一般開館(11日)	"	10月	新着図書お知らせサービス開始

## X 歴代館長

氏名	在職期間
三宅 五郎三郎	明治31年4月 ～ 明治33年3月
原田 千之助	明治33年3月 ～ 明治33年12月
中道 貫一 (館長心得)	明治34年1月 ～ 明治34年2月
三宅 五郎三郎	明治34年4月 ～ 明治37年3月
湯浅 吉郎	明治37年3月 ～ 大正5年5月
北畠 貞顕	大正5年10月 ～ 昭和15年11月
内藤 乾吉	昭和15年11月 ～ 昭和22年7月
西村 精一	昭和22年7月 ～ 昭和38年10月
相馬 利雄	昭和38年10月 ～ 昭和45年8月
岩崎 彰之助	昭和45年8月 ～ 昭和47年4月
吉川 博明	昭和47年4月 ～ 昭和48年6月
庄林 二三雄	昭和48年6月 ～ 昭和49年4月
宮本 英男	昭和49年4月 ～ 昭和50年3月
布村 忠雄	昭和50年4月 ～ 昭和55年4月
長谷川 啓司	昭和55年4月 ～ 昭和56年4月
浜辺 一彦	昭和56年4月 ～ 平成元年7月
上田 将 (本庁指導部長兼任)	平成元年7月 ～ 平成元年9月
林 芳男	平成元年9月 ～ 平成4年4月
柴田 實	平成4年4月 ～ 平成6年5月
高木 多喜男	平成6年6月 ～ 平成8年3月
五十嵐 一郎	平成8年4月 ～ 平成10年3月
西山 隆史 (本庁指導部長兼任)	平成10年4月 ～ 平成10年5月
小山 雄一	平成10年6月 ～ 平成13年3月
中里 隆憲	平成13年4月 ～ 平成16年3月
津守 俊一	平成16年4月 ～ 平成19年3月
松田 定	平成19年4月 ～ 平成21年3月
勝間 喜一郎	平成21年4月 ～

# 京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針

## 1 運営基本方針

- (1) 府内の中核的図書館として、図書館資料・情報の総合的な活用を図ります。
  - ①府民に身近な市町村立図書館・読書施設を支援するため図書館協力の中核となる役割を果たします。
  - ②府内の公共図書館の蔵書データを一体化した総合目録を構築し、インターネットで広く公開します。
  - ③府内公共図書館等職員が共有するレファレンス・データベースの構築を推進し、調査相談機能を高めます。
- (2) 総合目録ネットワークや各種電子媒体を駆使して、迅速かつ高度な図書館資料・情報サービスをめざします。
  - ①京都府図書館総合目録、国立国会図書館の総合目録及び国の学術情報システムの検索機能を活用した資料・情報サービスを行います。
  - ②多様なニューメディア資料を駆使した情報サービスを行います。
- (3) 図書館資料・情報サービスによる生涯学習環境の充実をめざして、役割分担を踏まえた市町村支援を行います。
  - ①市町村の図書館サービスを補完する図書館資料・情報の収集を行い、広域的・総合的利用を図ります。
  - ②府内すべての市町村を巡回する連絡協力車により、図書館資料の相互貸借の迅速化を図ります。
  - ③京都に立地する国立国会図書館とも連携したサービスに努めます。
- (4) 総合資料館との連携により、京都らしさのある図書館資料・情報を全国に発信します。

## 2 京都府立図書館資料収集方針

京都府立図書館は、府民の調査研究や生涯学習を支援する府内の図書館ネットワークの中核的図書館として、その役割を果たすための資料を収集します。

- (1) 府民の調査研究の拠点、及び生涯学習を支援する図書館としてふさわしい資料を収集します。
  - ①各分野の基本図書、研究書、専門書、資料集、逐次刊行物を収集します。
  - ②調査相談機能を果たすための参考図書等を収集します。
  - ③各分野の調査研究、生涯学習に役立つニューメディア資料を収集します。
- (2) 府内図書館ネットワークのセンターとして、府内の市町村図書館活動振興のための資料を収集します。
  - ①市町村の図書館では揃えにくい専門書・研究書・資料集等を、府内の図書館からのリクエストを踏まえ収集します。
  - ②市町村図書館からのリクエストによる一般書は、他の市町村図書館に所蔵されていないとき、また相互協力による資料提供が難しいときは収集します。
- (3) 京都府立総合資料館が京都資料、歴史資料、美術資料、官庁資料に重点をおいた収集をしていることに鑑み、両館の機能を踏まえて資料を収集します。
  - ①京都関係資料は、市販された資料を中心に収集します。
  - ②歴史、美術分野の資料は、府民の生涯学習及び市町村図書館を支援する上で最低限必要となる基本図書及び参考図書を中心に収集します。
  - ③官公庁出版物は、市販される年次刊行物を中心に収集します。

事業概要（平成22年度のまとめ）

平成23年（2011）9月発行

発行者 京都府立図書館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075) 762-4655 (代)

FAX (075) 762-4653

URL <http://www.library.pref.kyoto.jp>

印刷 株式会社 大 気 堂

TEL (075) 361-2321

この冊子は再生紙を使用しています。